



南相木村長 菊池 毅彦

雄大なハケ岳連峰の麓、この自然豊かな南佐久南部5ヶ町村でハケ岳野辺山高原100kmウルトラマラソンが開催できますことを心からお慶び申し上げます。

本大会も20回目の節目を迎えることができました。これも、毎年多くのランナーの皆様に参加していただいているおかげであると、感謝しております。

選手皆様におかれましては、標高差1,000mの厳しいコースの中で目にする美し

い山々の景色、肌で感じる澄んだ空気、地域の方々の暖かな声援を感じ、本大会を楽しんでいただければと願っております。

最後に本大会の開催にあたりご協力いただいた関係各位並びに多くのボランティアの皆様へ深く感謝申し上げますと共に、本大会の成功を祈念し、挨拶とさせていただきます。

南相木村インフォメーション

94%を山林原野が占める南相木村は、丸ごと自然村。村の中心を流れる南相木川は、急峻で多くの滝が存在します。県の名勝「おみかの滝」、奇岩「立岩」の真下を流れる「立岩の滝」、日帰り温泉「滝見の湯」のそばにある「犬ころの滝」など、7つの滝があります。ウルトラマラソン71kmゴール地点は「滝見

の湯」です。ぜひ温泉と滝を訪れてください。奥三川にある南相木ダムはロックフィルダムで、石灰岩を積み上げた雄大な姿を見せてくれます。ダムの周回は5.5kmの遊歩道が整備されており、ランニングコースとしても最適です。四季折々の美しい自然を味わいに、一度南相木村にお出かけください。



川上村長 藤原 忠彦

目に映える新緑と爽やかなそよ風に春の息吹を感じられる季節となりました。平成7年から開催されているこの「星の郷 ハケ岳野辺山高原100kmウルトラマラソン」も回を重ね、記念すべき第20回大会が開催されますこと、心からお慶び申し上げます。

また、回数もさることながら、昨年の大会には2,500名を超える大勢の皆様にご参加いただいたこと、この大会がこの地の風物詩として根付いておりますことはたいへん喜ばしい限りであります。

さて、一口に「20回」と申ししても、この20年、私どもを取り巻く社会情勢、生活様式は大きく変わりました。とりわけ情報技術産業の進展は目覚ましく、この農村におきましても随分と便利で快適な生活が送れるようになりました。

そのような便利な時勢の中、この大会は、100kmという長距離を自らの足で踏破するというたいへん過酷な大会です。時流と逆行しているようにも思えますが、反面、人間のもつ力の可能性を感じさせたいへん有意義な大会であるともいえるでしょう。

参加される皆様におかれましては、大いに自分自身の限界へ挑戦していただきたいと思っております。そしてまた、この20年の間、さらにこの後も変わることなく継ぎ続ける雄大なハケ岳の自然を感じていただけたら幸いです。

終わりに、本大会の開催にご協力いただいた関係各位、ボランティアの皆様へ深く感謝いたしますとともに、本大会の成功と皆様の益々のご健勝を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

川上村インフォメーション

川上村は、長野県の最も東に位置する高原の村です。四方を雄大な山々に囲まれたこの地は、信濃川(千曲川)の源流の地であり、日本一長い川はここから流れ始めます。川上村では、涼しい気候を活かした高原野菜の生産がさかんで、中でも

レタスの生産量は日本一です。山深いこの地で生まれ育った川上犬は、純血の日本犬として長野県の天然記念物に指定されています。2012年、村のマスコットキャラクター「レタ助」が誕生しました。川上村共々レタ助をよろしくお願ひします。



デカフォレストの由来

To the Organizers of the 100km Ultra Marathon in Yatsugatake Nobeyama,

To Daughters and Sons of Rising Sun,

ハケ岳野辺山高原ウルトラマラソン実行委員会・日出国の娘、息子たちへ

On the occasion of the 10 anniversary of your ultra marathon race, I wish to convey a most cordial message to you who for the ten consequence years «ΔΕΚΑΚΙΣ» as we say in Greek, successfully organized one of the most difficult 100km ultra marathon. May God help you to celebrate your twentieth and more anniversaries and prepare the brave Spartathlon runners.

第10回記念大会の開催に際し、屈指の難コースと云われるウルトラマラソン大会で見事に10回開催を成し遂げられた関係者の労に対して、心からのメッセージを贈ります。神は、この大会が20回、またそれ以上の開催を迎えること、そしてスパルタスロンを目指す勇敢なランナー達の参加する大会として、見守ってくれるでしょう。

A few years ago I had the chance to attend your difficult race, invited by Mr.Sakamoto, and I had the honor to award some of the brave winners, who later participated in Spartathlon. Some of you will have the privilege to become «ΔΕΚΑΚΙΣ» (dekakis

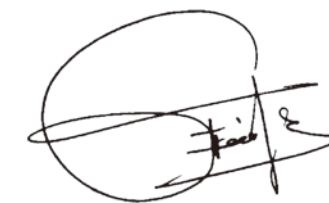
= ten time) winners, a special title for brave and courageous runners who will have the Greek name of «ΔΕΚΑΚΙΣ・ΝΙΚΗΤΗΣ» (dekakis nikitis = ten times winner). It is heroic deed to finish ten straight races in a row. We have trendy relations with your race, since from the beginning the finishers are accepted as participants in Spartathlon race. I wish to all of you every success to your efforts and will waiting to greet you at the base of the King Leonidas' statue, in Sparta.

私は、3年前に招かれ、完走困難なハケ岳野辺山高原ウルトラマラソンを見る機会を得ました。その際、勇敢な入賞者を表彰する栄誉を担いました。彼らはその後、スパルタスロンに参加しました。日本の100キロウルトラマラソンの中でも屈指の厳しいコースで10回の完走を果たすことは、大変なことであろうと考えます。私は、貴大会における10回完走者に対して、ギリシャ語でいう「デカキス・ニキティス Δ ΕΚΑΚΙΣ・ΝΙΚΗΤΗΣ(10回完走者)」という特別な称号を贈りたいと考えます。それは勇敢な、10回完走した、という意味の称号です。私は、ハケ岳野辺山ウルトラマラソンの完走者がスパルタスロンに参加する、という相互の友愛友好的な関係を保つことを希望しています。皆さんが研鑽してきたことを達成されるように望むと共に、スパルタのレオニダス像で皆さんにお会いできることを心よりお待ちしております。

Athens, April 3,2004
2004年4月3日、アテネより



Panagiotis Tsiakiris
President
of the International Spartathlon Association
国際スパルタスロン協会
会長 パナギオティス・チャキリス



スパルタスロン(Spartathlon)

紀元前490年、マラソンの戦いにおいて、アテネ軍の伝令フェイディピデスが援軍を求めために走った、アテネ〜スパルタ246kmのコースで行われているウルトラマラソンレース。制限時間36時間。

大会事務局は、国際スパルタスロン協会パナギオティス・チャキリス会長から贈られた「称号・デカキス・ニキティス Δ ΕΚΑΚΙΣ・ΝΙΚΗΤΗΣ」の意を受けて、よりハケ岳野辺山高原にふさわしい称号として、「ΦΟΡΕΣΤ・フォ

レスト(野辺山の森林を表現した造語)]を加え、ハケ岳野辺山高原ウルトラマラソン10回完走者に「デカフォレスト・ΔΕΚΑΦΟΡΕΣΤ」の称号を贈ることに決めました。



デカフォレスト
2013年達成者

浅野克則、石川安則、大野清美、小野田茂、木下克則、国井健三、栗和田利光、黒沢和吉、近藤正隆、齊尾孝、竹田賢治、直井洋介、中村保雄、南雲忠彦、新津輝秋、馬場淳二、古谷信行、増田貞子、松田真一、湊与志夫、宮哲雄、村上稔、森山貴幸、矢澤隆、八角猛司、湯本文雄(五十音順)